



untitled

<http://www.kana-pie.com>

「untitled」 肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・

神奈川県社会福祉法人経営青年会通信

contents

活動報告	— 関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会 総会・研修会 —	・・・ 1・2・3面
	— 宿泊集中セミナー —	・・・ 3・4面
	— 高齢研究委員会研修会 —	・・・ 4面
	— 保育研究委員会研修会 —	・・・ 5面
	— 平成26年度第2回総会 —	・・・ 5・6面
お知らせ	— 今後の予定・新入会員紹介・会員状況 —	・・・ 6面

活 動 報 告

関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会 総会・研修会

平成27年2月5日（木）から6日（金）にかけて、キャメロットジャパンにて、開催されました。当日は大雪が心配されましたが、約160名のご参加をいただき、盛会でした。前年度の当番県である群馬県からバトンを引き継ぎ、私たち神奈川県がおもてなしの心を持って他都県の方たちをお迎えいたしました。

1日目、心配された大雪も積もることなく、本県経営青年会の西山会長の挨拶で開会しました。「社会福祉法人は厳しい立場に置かれているが存在意義を確立していきたい。研修会が地域で活動するための一助になれば。また、2日間、神奈川県で楽しんでいただきたい。」と他都県の方たちに歓迎の意を表しました。その後、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会経営者部会の篠原正治部会長、全国社会福祉法人経営青年会の菊池俊則副会長から来賓のご挨拶をいただきました。篠原部会長からは歓迎の、菊池副会長からは全国の経営青年会の動きについてのご挨拶とともに、お二方とも「社会福祉法人にとって厳しい時代であるが、若い力を結集して乗り切ってもらいたい。」とお話をいただきました。



挨拶をする西山会長



講演する浦野理事長

最初の研修会は、社会福祉法人中心会の浦野正男理事長から「社会福祉法人の姿と今後の在り方」というテーマでご講演をいただきました。浦野理事長は、全国社会福祉法人経営者協議会の総務委員長など全国的に活躍されている神奈川県経営青年会の大先輩です。厚生労働省の社会福祉法人の在り方等に関する検討会等での具体的なやり取りなども交え、社会福祉法人に今、何が問われているのか？そして、社会保障審議会福祉部会における検討状況をご説明いただき、今後、社会福祉法人が取り組まなければならないことを教えていただきました。制度に基づく事業だけを実施するのではなく、地域社会の地域社会による地域社会の

ための社会福祉事業を実施しなければならない。社会福祉法人は地域の人たちに信頼され、必要とされれば、おのずと道が開けてくる、という話が印象的でした。

続いて、メディアでもお馴染みの淑徳大学教授・コメンテーターの北野大様より「北野家の訓え」というテーマでご講演をいただきました。お母様の教育方針、そして、地域で何をしたか、環境問題など、実弟でタレントのビートたけし氏との実生活でのやり取りを交え、時折笑いが起こる楽しいお話でした。日本人はこれから物の豊かさだけを求めるのではなく、心の豊かさを求めなければならない。そのためには生きがいを持つということが大切である。そして、教授が考える生きがいとは、感動する、感謝されることではないかと説かれました。



講演する北野教授



情報交換会風景

1日目の研修会終了後、約120名もの方にご参加いただき、情報交換会を実施いたしました。最初に甘利実行委員長から歓迎の挨拶があり、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会の篠原会長、そして、全国社会福祉法人経営青年会の廣江晃会長から来賓としてご挨拶をいただき、神奈川県社会福祉協議会の矢野常務理事の乾杯で情報交換会が始まりました。各都県会長からの挨拶、『ダンサーチーム YAMINABE』のダンスなどで大いに盛り上がり、交流を深めることができました。その後、二次会にも約90名の方にご参加いただき、さらに交流を深めました。

2日目の研修会は、元メジャーリーガーのマック鈴木様から「ゼロからの出発」というテーマでご講演をいただきました。メジャーリーグに挑戦した経緯、ご両親から受けた教育、メジャーリーグと日本のプロ野球の違い、現在の活動、そして奥様であるお笑いコンビ、クワバタオハラの小原正子氏との結婚に至った経緯と生活、3月にお生まれになる予定のお子様への思いなど、メジャーリーグやプロ野球の裏



講演するマック鈴木氏

話、プライベートを含めてお話しいただきました。「今の自分があるのは野球のおかげ！！」という感謝の言葉を何度か繰り返す姿がとても印象的でした。



実行委員とお手伝いいただいた会員

いただいた方々から感謝のお言葉をいただき、一年間、準備してきたかいがあったと達成感に満たされました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

大会も大詰めを迎え、総会では関東甲信越静ブロック社会福祉法人経営青年会平成25年度決算を群馬県の島田幸治会長から、平成26年度予算を神奈川県武藤会計から説明いただき、それぞれ承認されました。その後、各都県の代表から活動報告があり、次期開催県である千葉県社会福祉法人経営者協議会青年部の藤代清七郎部会長から神奈川県経営青年会に対してのお礼と千葉県での開催にも多くの方に参加していただきたいとのご挨拶がありました。最後に田代副実行委員長から感謝の挨拶で閉会いたしました。お見送りの際、参加して

【総務・広報委員 福原高洋】

宿泊集中セミナー

10月7日から8日にかけて、神奈川県社会福祉法人経営青年会としては毎年行っている宿泊集中セミナーを、箱根水明荘において東京都青年経営者会との合同開催という形で実施致しました。初めての試みでありましたが、東京都から12名、神奈川県から23名、合計35名の参加となりました。

テーマを「感動を生み出す人材育成」とした今回のセミナーですが、近年、福祉事業における人材確保は重要な課題であり、経営を担う私達にとっては特に頭の痛いところかと思えます。そうした中、西山会長より「皆様もご承知の通り、社会福祉法人を取り巻く状況は非常に厳しいものとなっておりますが、我々の存在意義を改めて見つめ直し、先人方の築いてきたものを引き継ぎつつ、未来に向かって共に発展していけるよう、よろしく願い致します。」と冒頭の挨拶があり、研修が始まりました。



東京都との交流風景



研修風景

1日目の研修1、研修2においてはメンタルヘルス対策、職場環境形成が人材確保にもたらす影響、介護人材確保の方向性、求人事業者側の課題等についての講義を頂きました。講師を務めて頂いた森田氏、門野氏ともに厚労省の委員会等にも携わっておられ、今後に向けての国の施策についての話も伺うことができました。

2日目に行われた研修3では、神奈川県経営青年会のメンバーでもある（福）愛川舜寿会の馬場氏を講師に迎え、サービスとホスピタリティの違いについて講義を頂きました。馬場氏におかれましては、有名ブラ

ンドアルマーニに勤務していたこともあり、その経験からの介護現場にも通じるサービスやホスピタリティの在り方についての考えはとても興味深い内容でした。

その後、東京都青年経営者会の下竹会長より近況の活動報告を頂き、合同研修会は無事に終了しました。研修を通じて、満足の上にある「感動」を引き出すポイントについてもうかがい知ることができ、また、今後の人材確保のために我々経営者側にできることがまだまだあることを痛感した内容だったのではないのでしょうか。

【研修委員 米山康之】

高齢研究委員会視察研修

高齢研究委員の提案にて開催した視察研修。今回は視点を改めて「TOTO 東京ショールーム見学」により、施設のご利用者への快適な水回りとはどういったものなのかを再度考えることを目的に平成 27 年 2 月 26 日（木）、訪問いたしました。いざショールームに入ると、単に水回りメーカーのショールームという我々の想像を超えるものでした。また、商品の説明や、特養などの介護施設用トイレ、手すりなどの付属アイテムは、徹底したマーケティングがなされている商品ばかりでありました。

1962（昭和 37）年創業以来の伝統を尊重しつつ、将来にわたって企業活動の基調になるものとして「社是」、「愛業至誠」は、「奉仕の精神でお客様の生活文化の向上に貢献し、一致協力して社会の発展に貢献する」という決意を表す言葉とのことです。

これはまさに我々社会福祉法人にも通ずる理念であると感じたと同時に、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造するという“利他の精神”があつてこそ、企業として現在の地位を確立したのだと感じずにはいられませんでした。

ショールームでは様々な商品を展示しており、実際の商品を見たり、操作してみたりして確認することができました。

通常私たちは、トイレ改修等の際、業者を通して分厚い TOTO カタログからの商品選定、その使用感と見積もりと、トイレのスペースとしてのデザイン（レイアウト）や動線を考えることはあつても、商品自体のメリットなどは細かな商品説明を満足いくほど受けないことの方が多いように思います。

今回はもちろん専属のスタッフが我々をアテンドしながらの見学となり、その都度説明と使用感や、まだ市場に出回っていない新開発の商品を案内してくださいました。

また、排泄というと汚いものというイメージが強い中、ショールーム自体が非常にデザイン性の高い空間となっており、アミューズメントパークのような店内と、スタッフの方々の丁寧な対応によって 2 時間の見学はあっという間に終わり、会議室にて意見交換会をさせて頂きました。

老朽化が進む施設や、新設の介護施設に着工する際には必ず訪れることをお勧めいたします。そしてこれからの介護施設に必要とされる快適な空間の中でも特に重要視すべき「水まわり」の整備により、衛生面においても、無理のない使用感において我々設置する側も使用する側（ご利用者）にとってもベストな新設・改修工事を行い、ご満足頂ける施設経営に繋げていきたいと思っております。

【高齢研究委員 馬場拓也】

保育研究委員会研修会

去る平成 27 年 3 月 2 日（月）、神奈川県社会福祉会館第 2 会議室において、平成 26 年度保育研究委員会研修会を開催しました。今年度は、一般社団法人クオリティ・オブ・ライフ創造支援研究所理事長の森田司氏を講師に迎え、「保育園の経営成長に必要な厚労省の優良企業認定の取得」というテーマで講演をしていただきました。

はじめに、ブラック企業認定というものについて説明をしていただきました。①労働基準法、労働安全衛生法などのいくつかの法制度違反があり、②重大な労働災害（死亡災害や、障害等級 7 級以上）を繰り返し、または複数事業場で発生させた企業、③法制度に則して改善計画作成・実行し、重大な労働災害の再発を実現しない、または出来ない企業はインターネット上で企業名・事業場名を公開する、という制度であり、ハローワークでも取り扱ってくれなくなるので、企業として存続が非常に厳しくなります。

気を付けなければならないのは、重大な労働災害になる障害等級 7 級以上というものに、気分障害や統合失調症、パニック障害なども対象になっていることだと思います。ですから、メンタルヘルス対策をしっかり行うことの重要性を再認識しました。

次に安全衛生優良企業認定について説明をしていただきました。この認定を受けることで、①厚労省 HP に優良企業名を掲載、② ハローワークによる PR、③学校に対する PR、④優良企業限定の就職フォーラム、等の様々なインセンティブが与えられます。現在、人材不足に悩んでいる保育園も多いと思いますが、この認定を取得することが定着率向上へのひとつのきっかけになるのではないのでしょうか。

森田氏が最後におっしゃった、「職員が本気で仕事に打ち込んでも潰れさせない職場環境づくりを目指してほしい」という言葉がすごく印象的でした。職場環境を向上させること、それが自園、ひいては法人の発展につながるひとつの要因ではないのでしょうか。

最後になりましたが、今回快く講演を引き受けていただいた森田氏をはじめ、当日ご協力いただいた経営青年会の皆様に感謝を申し上げて研修会報告とさせていただきます。ありがとうございました。

【保育研究委員長 渡辺高幸】

平成 26 年度第 2 回総会

平成 27 年 3 月 3 日（水）16 時 00 分から神奈川県社会福祉会館にて、平成 26 年度第 2 回総会が開催されました。

「オール神奈川」の若手の力を結集させて、社会福祉の風を読み、スピーディーに対応し、知恵と行動力で、この現状に打ち勝っていきたくと会長からの挨拶があり、次の議案が審議されました。

第 1 号議案 平成 26 年度収支補正予算（案）について

第 2 号議案 平成 27 年度事業計画（案）について

第 3 号議案 平成 27 年度収支予算（案）について

第 4 号議案 役員改選について

第 5 号議案 その他

審議の結果、すべての議案が承認されました。

第 4 号議案の役員改選では、照陽会の高橋輝彦副会長と福慶会の関水貴浩監事が退任され、次期役員には三神会の井田友花副会長と富士美の森弘樹監事が選任されました。その他の役員は留任となりました。高



総会風景

橋副会長、関水監事、2年間、ありがとうございました。新任の役員のお二人は次号で紹介させていただく予定です。

最後に出席いただいた新入会員の紹介を行い、16時30分に終了いたしました。

【総務・広報委員会 福原高洋】

お知らせ

今後の予定

予定されている研修会や大会です。詳細については、案内書、またはホームページでご確認ください。

開催日	場所等	テーマ等
平成27年6月9日	キャメロットジャパン	平成27年度第1回総会・合同研修会

新入会員紹介

新たに入会された新会員を紹介いたします。

伊藤 俊吾 様 (七葉会) 手塚 宏 様 (睦愛会)

松本 政治 様 (愛生福祉会) 五十嵐光雄 様 (県社会福祉事業団)

佐野 芳彦 様 (県社会福祉事業団) 山田 謙吾 様 (憩)

会員状況

会員数 93名 法人数 68法人 (平成27年3月末日現在)

編集後記

1年前から準備してきた『関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会総会・研修会』、無事、終了いたしました。会長からのお話ですと、他都県の皆様も喜んでいただいたとのこと。甘利実行委員長をはじめ、事前準備、当日のお手伝いに携わっていただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。会長や来賓の方たちが言う『若い力』が結集できたと思います。社会福祉法人にとって現状は厳しいものですが、この力を引き続き結集し、頑張っていきましょう！(high-ocean)

発行／神奈川県社会福祉法人経営青年会

連絡先／〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡4-2

神奈川県社会福祉会館内

(福) 神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス推進部ライフサポート担当

電話：045-311-8753

Fax：045-320-4077